指定居宅介護支援事業所　アンケート調査票

※回答は「別添２(エクセルファイル)」により、電子メールにてお願いいたします。

|  |  |
| --- | --- |
| 法人名 |  |
| 事業所名 |  | 事業所番号 |  |
| 介護支援専門員数 | ①主任介護支援専門員（　）人②介護支援専門員 （　）人※常勤・非常勤、専従・兼務等は問いません。 |
| 利用者数 | ①要支援　約 （　）人　②要介護1,2　約（　）人③要介護3,4,5　約（　）人※過去６か月以上未利用な方は計上しないでください。 |
| 特定事業所加算 | 有　　・　　無 |
| ご担当者名 |  |
| ご連絡先（TEL） |  |

【回答事業所】

【 R2.1.31時点でご回答ください。】

【質問１】

　貴事業所における介護支援専門員の不足感及び運営状況について、もっともあてはまるものを１つ選んでください。

|  |
| --- |
| ①介護支援専門員の不足感は感じないし、地域の介護ニーズにも対応できている。　→【質問５へ】 |
| ②介護支援専門員の不足感は感じないが、地域の介護ニーズに十分対応できていない。　→【質問２、４、５へ】 |
| ③介護支援専門員の不足感は感じるが、地域の介護ニーズに対応できている。　→【質問３、４、５へ】 |
| ④介護支援専門員の不足感を感じ、かつ地域の介護ニーズにも十分対応できていない。　→【質問２、３、４、５へ】 |

【質問２】

　質問１で②④「地域の介護ニーズに十分対応できていない」と回答した事業所にお伺いします。貴事業所の状況としてもっとも当てはまるものを１つ選んでください。

|  |
| --- |
| ①介護支援専門員一人あたりが担当する利用者数が人員基準（３５人）を超過した状態となっている。 |
| ②利用者数は人員基準内だが、一件あたりに必要となる手続きが煩雑化し、対応に時間を要している。 |
| ③利用者数は人員基準内だが、複雑かつ困難な事例が増加しており、対応に時間を要している。 |
| ④利用者数は人員基準内だが、居宅介護支援以外の業務が負担となっている。　→負担となっている業務内容を記入してください。（　　　　　　　　　） |

【質問３】

　質問１で③④「介護支援専門員の不足感を感じている」と答えた事業所にお伺いします。

介護支援専門員の不足感を感じる原因となったものとして、もっとも考えられるものを１つ選んでください。

|  |
| --- |
| ①処遇改善を図っているのに、なかなか求人に応じてくれない。 |
| ②処遇面で他社と差別化できず、人材が流れてしまう。 |
| ③雇用しても業務負担が大きいことを理由にすぐに辞めてしまう。 |
| ④介護支援専門員の資格を持つ人の絶対数が少ない。 |
| ⑤他の介護支援専門員を指導できる熟練した主任介護支援専門員がいない。 |
| ⑥その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

【質問４】

　介護支援専門員に係る現状を改善するために、国や県、市が行う施策について、

最も効果的だと思うものを１つ選んでください。

|  |
| --- |
| ①特に必要なし。 |
| ②給与や休暇の付与など介護支援専門員の処遇改善を支援する。 |
| ③介護予防ケアマネジメント費や要介護認定調査委託料等の単価を増額改定する。 |
| ④条例改正等で事業所の作成が義務づけられている帳票類などを効率化し、介護支援専門員の事務負担を軽減させる。 |
| ⑤現役で働く介護支援専門員の負担を軽減させるため、法定研修の受講時間を少なくする。 |
| ⑥ＩＣＴによる業務効率化を加速させるため、補助事業を充実させる。 |
| ⑦潜在的な介護支援専門員の有資格者に対して、求人中の事業所とのマッチング支援を行う。 |
| ⑧介護支援専門員を介護職におけるキャリアアップの一つとして明確な位置付けを行う。（介護支援専門員のイメージアップ） |
| ⑨介護支援専門員の絶対数を増やすため、実務研修受講試験の合格者を増やす。 |
| ⑩その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

【質問５】

　将来的な介護支援専門員の状況について、最も当てはまるものを１つ選んでください。

|  |
| --- |
| ①このままの状態であれば将来的に介護支援専門員が不足することはないと思う。 |
| ②このままの状態であれば将来的に介護支援専門員が（さらに）不足すると思う。 |
| ③分からない。 |

アンケート調査に御協力いただきましてありがとうございました。